

世界の品質を“包装”で守る

ゼネラルパッカー通信

Investors' Guide

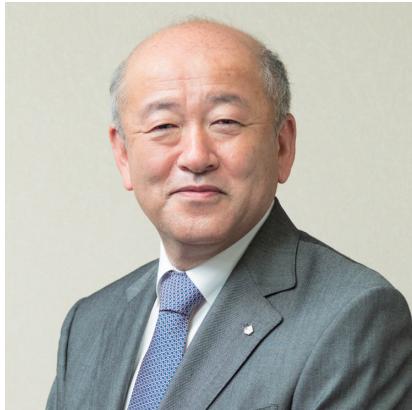
2025年7月期(第64期) 中間
[2024.08.01→2025.01.31]



包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社

証券コード 6267



グローバル展開の加速と 事業領域の拡大を 基本戦略の柱とし、 第7次中期経営計画達成に向けて 販売戦略を実践してまいります。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
ここに当社第64期第2四半期累計期間（2024年8月1日から2025年1月31日まで）の
営業状況と通期の見通しをご報告させていただきます。
ご一読の上、当社事業へのご理解とともに、
今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 牧野 研二

2025年7月期上半期の決算概況

2025年7月期上半期の売上高は4,225百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は475百万円（前年同期比6.7%減）、経常利益は483百万円（前年同期比5.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は338百万円（前年同期比1.5%減）となりました。期初の業績予想に対して売上高は370百万円の減収となりましたが、利益につきましては営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益のいずれも予想を上回る実績となっております。
全体の売上高は14百万円の減収となりました。事業別の主な要因ですが、包装機械事業では製袋自動包装機及び包装システムの販売実績が増加したことに伴い272百万円の増収となった一方、生産機械事業では大型プラントの販売実績が減少したことに伴い286百万円の減収となりました。
営業利益は全体で34百万円の減益となりました。包装機械事

業では、開発関連投資、人的資本への投資強化による販管費上昇により25百万円の減益となりました。生産機械事業では、大型プラントの販売実績減少により、8百万円の減益となりました。

2025年7月期通期の見通し

2025年7月期の業績見通しについて、売上高10,000百万円（前期比1.5%増）、営業利益865百万円（前期比13.5%減）、経常利益870百万円（前期比14.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益610百万円（前期比15.4%減）を予定しており、通期業績予想の変更はありません。
2025年7月期上半期では売上高が当初計画を若干下回ったものの、上半期での検収予定の案件が下半期へずれ込んだことが要因であります。受注残高は包装機械事業において着実に増加しており、通期では当初計画の達成を見込める状況であることから前期比での増収を見込んでおります。
一方で利益につきましては開発関連投資、人的資本への投資

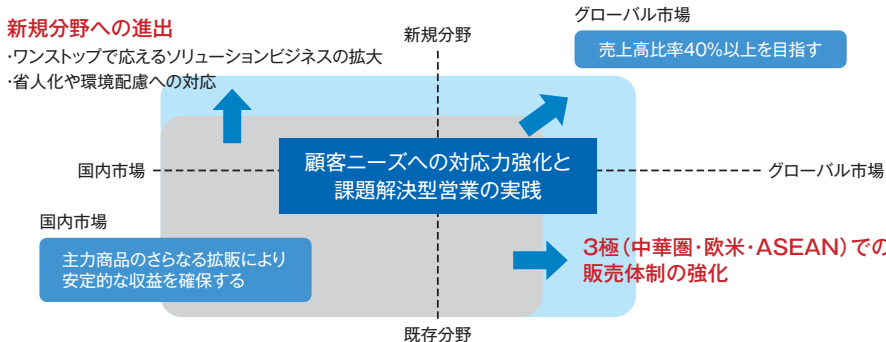
強化による販売費及び一般管理費の増加を想定していることから、当初計画通り前期比での減益を見込んでおります。

第7次中期経営計画の取り組みについて

第7次中期経営計画（2024年7月期～2026年7月期）では、「グループ一体での飛躍的成長に向けた基盤整備の時期」と位置づけ、グローバル市場での売上高比率40%以上の実現と事業領域の拡大を重要課題として取り組みを行っております。
「飛躍的成長に向けたグローバル展開の加速と事業領域の拡大を目指す」を基本戦略に掲げ、「顧客ニーズへの対応力強化と課題解決型営業の実践」を販売戦略の中心として、国内市場では主力商品のさらなる拡販により安定的な収益を確保しつつ、ワンストップで応えるソリューションビジネスの拡大、省人化や環境配慮への対応を進めるとともにグローバル市場においては、3極での販売体制を強化することでグローバル市場での売上高比率40%以上の達成に向けて取り組んでまいります。

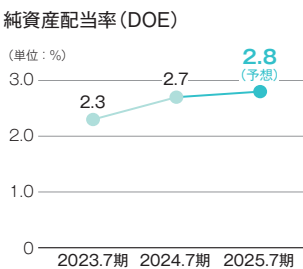
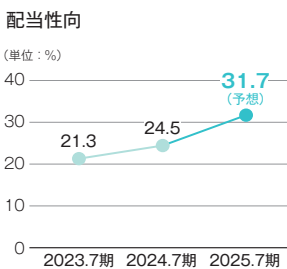
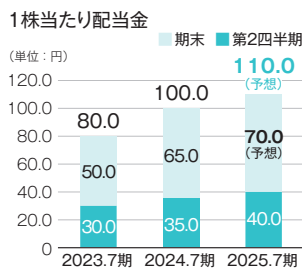
基本戦略

飛躍的成長に向けた
グローバル展開の加速と
事業領域の拡大を目指す



株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)3%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指していきます。



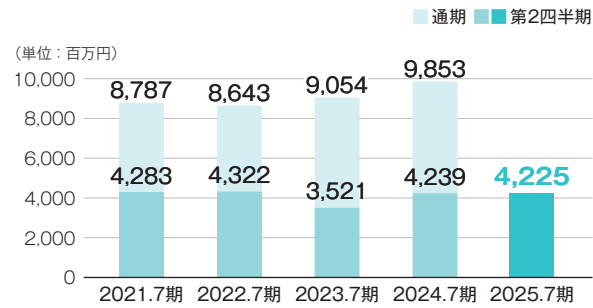
経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復の動きが続きました。一方で、米国経済は堅調に推移したものの、同国の通商政策の動向、ロシア・ウクライナ情勢や緊迫化する中東情勢などの地政学リスクの長期化、円安によるエネルギー価格・原材料価格の高騰、中国経済の持ち直しの遅れなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

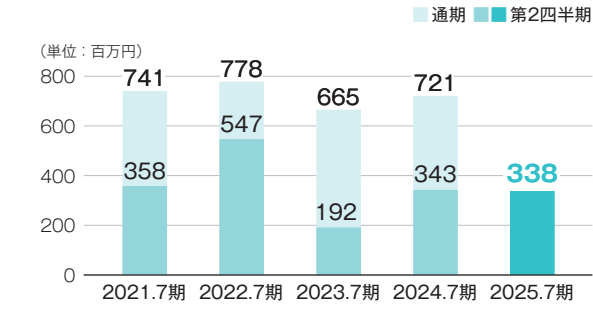
このような状況のなか、当社グループは「グループ一体での飛躍的成長に向けた基盤整備の時期」と位置づけた第7次中期経営計画（2024年7月期～2026年7月期）で掲げた基本戦略の一層の推進を図るべく、グローバル展開の加速と事業領域の拡大を重要課題として、取り組みを強化してまいりました。

当中間連結会計期間における売上高は、包装機械事業における

売上高



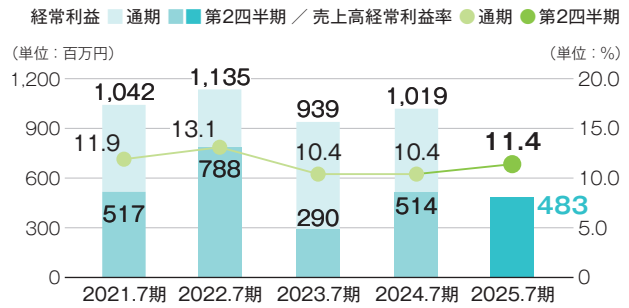
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



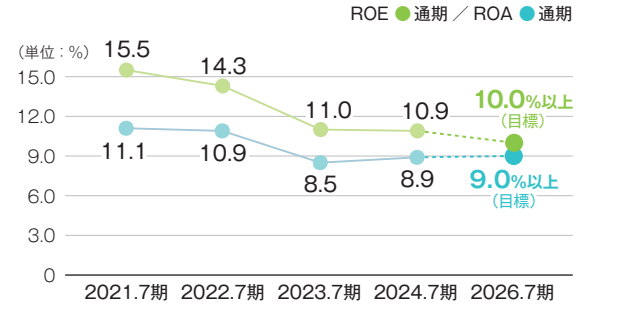
製袋自動包装機及び包装システムの販売実績が増加となったものの、生産機械事業における大型プラントの販売実績が減少したことに伴い、前年同期に比べ14百万円の減収となりました。利益につきましては、開発関連投資、人的資本への投資強化による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。包装機械事業は製袋自動包装機及び包装システムの販売実績が増加したことから、売上高は3,802百万円（前年同期比7.7%増）となりました。利益につきましては、開発関連投資、人的資本への投資強化による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は496百万円（前年同期比4.9%減）となりました。生産機械事業は大型プラントの販売実績の減少により、売上高は422百万円（前年同期比41.3%減）、営業損失は21百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

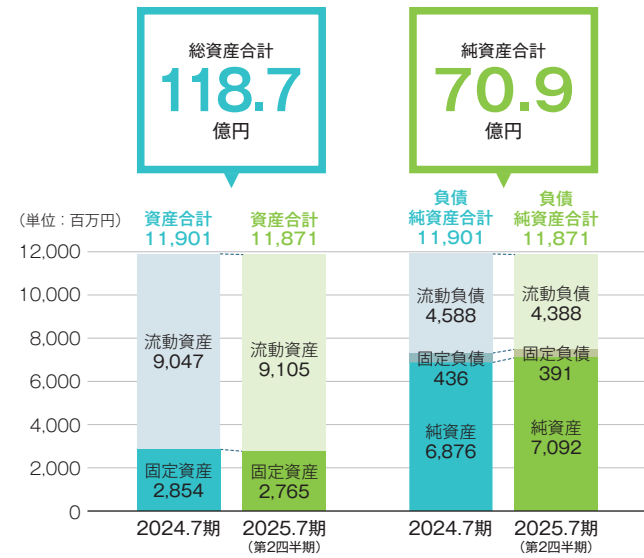
経常利益／売上高経常利益率



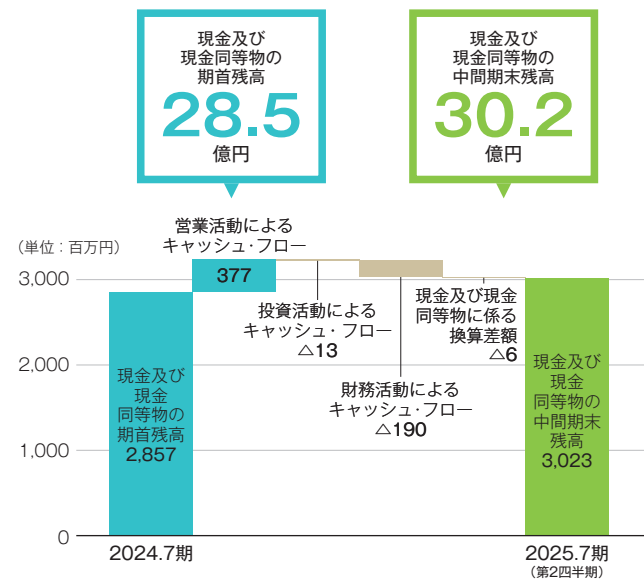
ROE／ROA



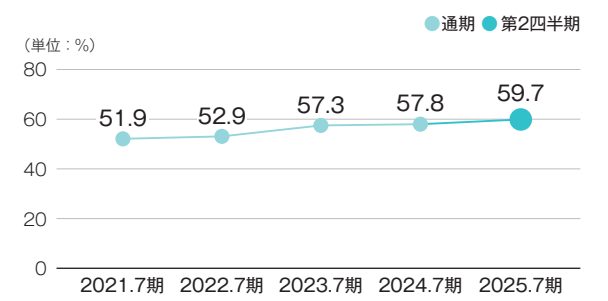
財務状況



キャッシュ・フローの推移



自己資本比率



財務分析

当中間連結会計期間末における資産合計は11,871百万円となり、前連結会計年度末に比べて29百万円減少いたしました。主な要因は、仕掛品が524百万円増加した一方で、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が745百万円減少したことでありま

負債合計は4,779百万円となり、前連結会計年度末に比べて245百万円減少いたしました。主な要因は、前受金が691百万円増加した一方で、仕入債務が611百万円、長期借入金（1年内返済予定含む）が73百万円、未払法人税等が58百万円、それぞれ減少したことでありま

キャッシュ・フロー分析

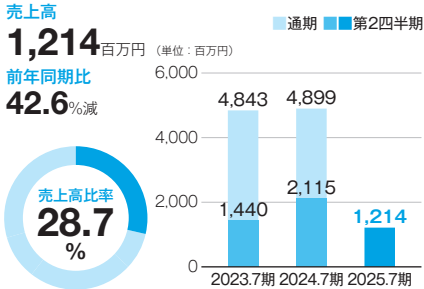
営業活動の結果得られた資金は377百万円（前年同期比84.4%増）となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少額857百万円、前受金の増加額691百万円、税金等調整前中間純利益483百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額608百万円、棚卸資産の増加額568百万円、法人税等の支払額181百万円です。投資活動の結果使用した資金は13百万円（前年同期比49.6%減）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出7百万円、無形固定資産の取得による支出5百万円です。財務活動の結果使用した資金は190百万円（前年同期比18.3%増）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額116百万円、長期借入金の返済による支出73百万円です。

包装機械

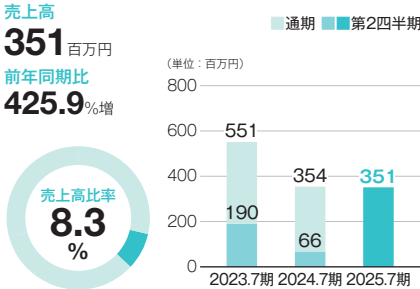
包装機械事業につきましては、製袋自動包装機及び包装システムの販売実績が増加したことから、売上高は3,802百万円(前年同期比7.7%増)となりました。利益につきましては、開発関連投資、人的資本への投資強化による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は496百万円(前年同期比4.9%減)となりました。



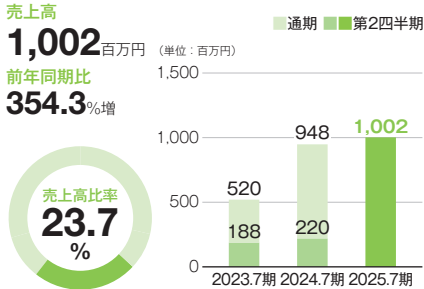
給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)



製袋自動包装機



包装関連機器等

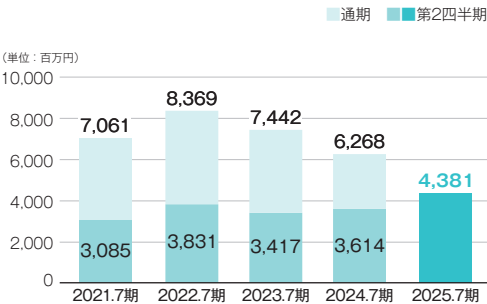


生産機械

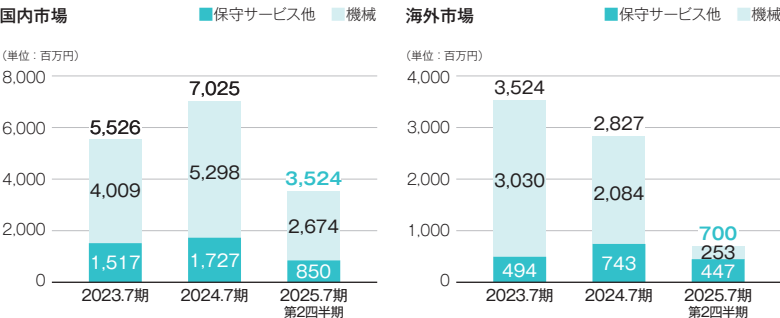
生産機械事業につきましては、大型プラントの販売実績の減少により、売上高は422百万円(前年同期比41.3%減)、営業損失は21百万円(前年同期は営業損失12百万円)となりました。



機械受注高



エンドユーザー国内・海外売上高(包装機械・生産機械合計)



会社概要

商 号	ゼネラルパッカー株式会社
英 文 社 名	GENERAL PACKER CO., LTD.
設 立	1961年12月
資 本 金	2億5,157万7千円
事 業 内 容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、食品製菓機械の製造・販売
従 業 員 数	214名(連結) 175名(単体)
本 社 ・ 工 場	〒481-8601 愛知県北名古屋市区宇福寺神明65番地 TEL. (0568) 23-3111 (代) FAX. (0568) 22-3222
東 京 営 業 部	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8 KDX神田北口ビル4F TEL. (03) 3256-3891 (代) FAX. (03) 3256-3893
子 会 社	オサ機械株式会社 蘇州日技通用包装机械有限公司 General Packer America Corporation
関 連 会 社	錦通日技包装科技(江蘇)有限公司

(2025年1月31日現在)

役 員

代 表 取 締 役 社 長	牧 野 研 二
常 務 取 締 役	水 野 智 之
取 締 役	安 藤 正 行
取 締 役	塚 本 真 也
取 締 役	杉 田 篤 紀
社外取締役(監査等委員)	久 野 浩 介
社外取締役(監査等委員)	村 橋 泰 志
社外取締役(監査等委員)	浅 井 一 郎
社外取締役(監査等委員)	森 田 卓 寿
社外取締役(監査等委員)	井 上 理 津 子

(2025年1月31日現在)

株式の状況

発 行 可 能 株 式 総 数	5,600,000株
発 行 済 株 式 総 数	1,798,800株
株 主 数	940名

(2025年1月31日現在)

大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社FAMS	270,000	15.05
ゼネラルパッカー従業員持株会	241,800	13.48
株式会社りそな銀行	78,400	4.37
田中 かな	69,900	3.90
MSIP CLIENT SECURITIES	66,500	3.71
ゼネラルパッカー取引先持株会	56,400	3.14
梅森 輝信	53,700	2.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	50,954	2.84
島末 孝法	39,200	2.18
鈴木 完繁	30,364	1.69

(2025年1月31日現在)

株主数構成比

個人・その他	891名	94.8%
その他法人	26名	2.8%
証券会社	13名	1.4%
外国人	5名	0.5%
金融機関	4名	0.4%
自己名義	1名	0.1%



株式数構成比

個人・その他	1,205,462株	67.0%
その他法人	377,290株	21.0%
金融機関	141,254株	7.9%
外国人	67,600株	3.8%
証券会社	5,645株	0.2%
自己名義	1,549株	0.1%



IRサイトでも、詳しい情報を提供しています

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

当社サイトは、日興アイ・アール株式会社の「2024年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」にて、スタンダード市場部門 優秀サイトに選ばれました。(https://www.nikkoir.co.jp/)



▼トップページ



▼IRページ



主なコンテンツ

経営方針・戦略

当社の企業ビジョンや中期経営計画、CSR情報などをご覧いただけます。

決算・IR資料室

アナリスト向けの決算説明会の様子が動画でご覧いただけます。

経営方針・戦略

企業ビジョン
中期経営計画
中期経営計画
投資家向け
コーポレート・ガバナンス
CSRの取り組み
環境方針
社会貢献活動に関する基本方針

財務ハイライト

経営成績
セグメント情報
財務比率
財務情報
財務情報
財務情報

決算・IR資料室

決算概要
決算説明会
決算説明会
決算説明会
決算説明会
決算説明会

個人投資家の皆さまへ

経営方針
財務情報
決算概要
決算説明会
決算説明会
決算説明会

株式情報・株価情報

株式情報
株式情報
株式情報
株式情報
株式情報
株式情報

FAQ

FAQ
FAQ
FAQ
FAQ
FAQ
FAQ

個人投資家の皆さまへ

業務内容や特徴、業界情報、配当についてわかりやすく解説しています。

<https://www.general-packer.co.jp/ir/>

株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	定時株主総会 7月31日 期末配当金 7月31日 中間配当金 1月31日 その他あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-707-843 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL	https://www.general-packer.co.jp/

包装システムのトータルプランナー
ゼネラルパッカー株式会社

本社・工場 〒481-8601 愛知県北名古屋市府寺神明65番地
TEL. (0568) 23-3111 (代) FAX. (0568) 22-3222
東京営業部 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8
KDX神田北口ビル4F
TEL. (03) 3256-3891 (代) FAX. (03) 3256-3893

各種手続きのお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券保管振替機構(ほふり)をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券保管振替機構(ほふり)をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社へお申出ください。

